

## ENEOSホールディングス株式会社が発行する 「トランジション・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、ENEOSホールディングス株式会社（以下「本法人」）が発行する第4回トランジション・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2022年6月15日）。

「トランジション・リンク・ボンド」とは、脱炭素社会の実現に向けて長期的な戦略を策定した企業が、その戦略に沿った目標設定（SPTs）を行い、達成状況に応じて条件が変動する社債です。

本債券は、国内初のトランジション・リンク・ボンドで、本法人は本債券の発行にあたって、「トランジション・リンク・ボンド・フレームワーク」を策定し、「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック 2020」（国際資本市場協会（ICMA））、「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針（2021年5月）」（金融庁・経済産業省・環境省）、「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020」（ICMA）、「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020年版」（環境省）との適合性について、株式会社日本格付研究所（JCR）より、第三者意見を取得しております。

また、本法人は、SPTsを2030年度までに本法人グループにおける直接及び間接排出のネットCO<sub>2</sub>排出量を2013年度比46%削減とし、未達の場合、寄付、または排出権/グリーン電力証書を購入することとしています。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上